

「葛飾区少年の主張大会」が 開催されました

平成30年11月17日(土)、かつしかシンフォニーホールアイスホールにおいて、応募総数490人の中から選ばれた小学生20人・中学生8人、計28人が、それぞれの主張を発表しました。結果は次のとおりです。

■小学生の部

最優秀賞

星合 愛香(ほしあい) あいか・鎌倉小(6年)
「自分から言える勇氣」

片倉 宏海(かたくら) ひろみ・細田小(6年)

「私の人生脚本」

優秀賞

鈴木 冨佳(すずき) さやか・南綾瀬小(6年)

「いじめの強さといじめの弱さ」

飯沼 美音(いぬま) みおん・小松南小(6年)

「気持ち」の大切さ AIとの共存」

細谷 笑里(ほそや) えみり・幸田小(6年)

「あたり前ではないことに気付いた夏」

七五三 菜摘(しめ) なつみ・木根川小(6年)

「当たり前の大切さ」

遠藤 蘭(えんどう) らん・水元小(6年)

「ハコ」

入選

新井 愛音(あらい) あいね・よつぎ小(6年)

河原塚 真由希(かわらづかまゆき) 堀切小(6年)

荒岡 彩花(あらかおか) あやか・白鳥小(6年)

佐藤 正憲(さとう) まさのり・中之台小(6年)

佐藤 明帝(さとう) めいたい・中青戸小(6年)

長濱 諒太(ながはま) りょうた・上平井小(6年)

的場 詩歩(まことば) しほ・奥戸小(6年)

内田 美海(うちだ) みなみ・北野小(6年)

千葉 姫莉(ちば) ひまり・新宿小(6年)

鳥羽 美夕子(とば) みみこ・原田小(6年)

千田 宗太朗(せんだ) そうたろう・半田小(6年)
宮崎 晴人(みやざき) はると・本田小(6年)
柳川 天我(やながわ) てんが・葛飾小(6年)

■中学生の部

最優秀賞

乃村 海香(のむら) みか・金町中(2年)

「笑顔は魔法」

茂谷 乃絵(もたに) のえ・立石中(2年)

「伝える」

濱田 珠琉(はまだ) みる・常盤中(3年)

「平和と戦争」

入選

遠藤 春菜(えんどう) はるな・新小岩中(2年)

石川 想(いしかわ) こころ・高砂中(3年)

宮本 夏帆(みやもと) なつほ・上平井中(2年)

高橋 優衣(たかはし) ゆい・大道中(3年)

藤本 幸成(ふじもと) ゆきまさ・堀切中(1年)

(敬称略・同一賞内の順番は発表順)

地域教育課 ☎ (5654) 8482



中学生の部・最優秀賞

笑顔は魔法

金町中学校2年 乃村 海香

「辛い時とか苦しい時、とりあえず無理矢理にでも笑ってあげれば、大抵のことは乗り越えられるのだから」

この台詞は、細田守監督のアニメ映画「おおかみこどもの雨と雪」の、主人公の花の亡き父親が、花に残した言葉です。この言葉を初めて聞いた時、私は驚きました。全く同じことを、私も普段から考えていたからです。

私は笑顔は魔法だと思っています。どんなに辛い時でも笑ってあげれば、少し心が軽くなったような気がするからです。私は自分の笑顔が自慢でした。小学校の先生や友達から「乃村さんの笑顔は人を幸せにする」と言われていたので、自分の笑顔に自信を持って過ごしていました。

ところが、中学生になってからは、その考えが全く変わってしまいました。私の笑顔に対し、クラス友達の「なんで笑っているの?」と耳を疑う言葉が投げかけられたからです。友達は、私の表情が少し大げさに見え、自分が馬鹿にされていくと感じたようでした。私はやつの思いでできた友達に嫌われたくなかったので、笑顔はしばらく控えるようにしました。そして、意味もよく分からない流行り言葉を使い、態度はいつも適当な感じ、口癖は「すごい」から「やばい」に変え、周りの中学生にとことん合わせました。

しかしクラスの友達は、私の陰口を言うようになりました。理由は「態度がわざとらしい。性格が悪い」。からだそう。私なりのみんなに受け込もうとした態度が、かえってみんなの反感をかってしまったようで、周りの友達は、だんだん私から離れていきました。私は自分の笑顔が嫌いになりました。笑った時にでるえくぼも、細くなる目も、わざとらしいと言われるこの笑顔が。それから私は、あまり本当の自分を表に出さなくなりました。友達にも、親にも、自分にも。

そんなある日、同じ小学校出身の子から「身長相変わらず伸びないね」と声をかけられました。Aちゃんは昔ながらの調子で、軽く言っただけでした。かつての私なら「いつか絶対にAちゃんの身長を超えてみせるからね!」と返していました。

だが、その時の私は、周りの目を気にして「酷い、背が低いことを馬鹿にするの、やめてくれる?」と言い返してしまいました。友達は心なしか悲しい顔をしました。ぼろっとこぼれ出た言葉でしたが、すぐに自分のしてしまったことの重大さに気づき、罪悪感で目の前が歪み、何か壊れてしまったような感覚で、私はその場から逃げ出してしまいました。

そんな時、違う中学校に進学した同級生と久しぶりに遊びました。家に帰り、その日に起きた楽しかったことを親に話していると、私は自然と本当の笑顔になっていました。繕いのない、ありのままの笑顔に。これまでの色々な記憶が駆け巡り、心の闇が取り除かれていくような感覚で、気づけば涙が頬をつたっていました。その瞬間、私は自分が独りになってしまっていたいかに猛烈に不安になりました。冷たい態度をとってしまったAちゃんに今すぐ謝りたい、これ以上友達を失いたくない、そんな気持ちで胸がいっぱいになりました。

次の日、私はAちゃんに「この間、冷たい態度をとっちゃってごめんね。本当にごめんさい。」と泣きそうになりながらも、精一杯の気持ちを込めて謝りました。Aちゃんは私の目が赤いことに気付き「こっちはごめん!私は今このノムさんも昔のノムさんも好きだよ。ほら、笑って!」と言ってくれました。その言葉を聞いた時、取り繕う今の自分も、昔の自分も両方好きになりたいと感じました。苦勞して変えた自分だからこそ、向き合って生きたいと教えてくれた彼女に感謝を表すため、本当の笑顔を見せました。

皆さんは、普段どんな表情で会話をしていますか?周りの目を気にしすぎて、自分を見失ってしまったり、それはもうあなたではなくなっています。

歌手のAnnyさんの「笑顔」という曲に「笑顔とともに乗り越えてきた日々があるから強くなるよ」という歌詞があります。辛い時や苦しい時、いつも笑顔でいれば、その分強くなれるはず。私がそれを証明してみせます。

笑顔は人を強く豊かに、そして幸せにしてくれる魔法です。私はその笑顔の魔法を武器に、この先どんな困難が待っているようにも、新たな自分とともに生きていきます。だから皆さんも、もっと笑ってください!